

ケアマネの部屋

発行日：平成 29 年 9 月 30 日 (No. 21)

発行元：浜松市介護支援専門員連絡協議会

ブログ：はままつケアマネの部屋

<http://keamanoheya.hamazo.tv/>

「浜松市認知症初期集中支援チーム」について

浜松市高齢者福祉課

「認知症初期集中支援チーム」とは、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応にむけた支援を行うためのチームです。

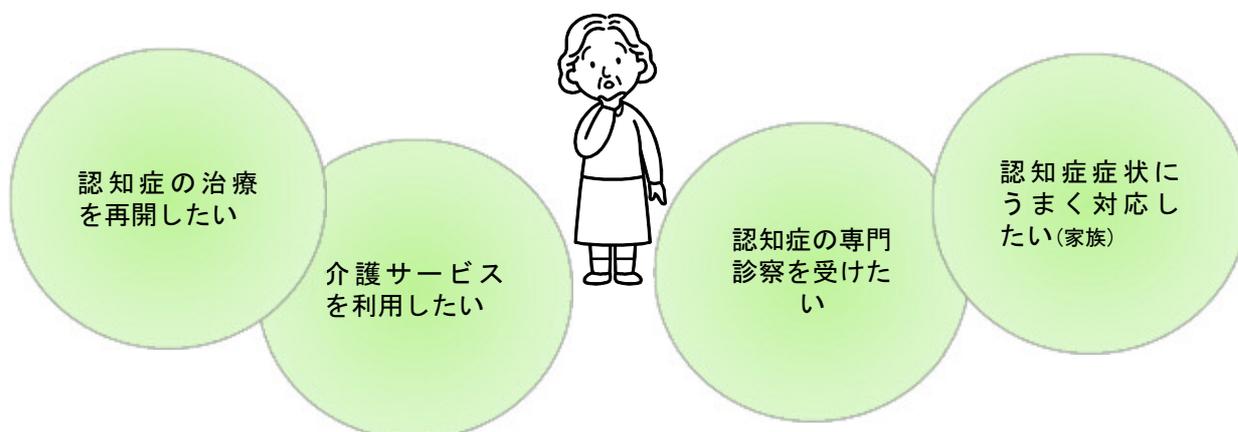
認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）において、平成30年度からすべての市町村で実施することが目標として掲げられている事業です。

●支援の対象となる方は？

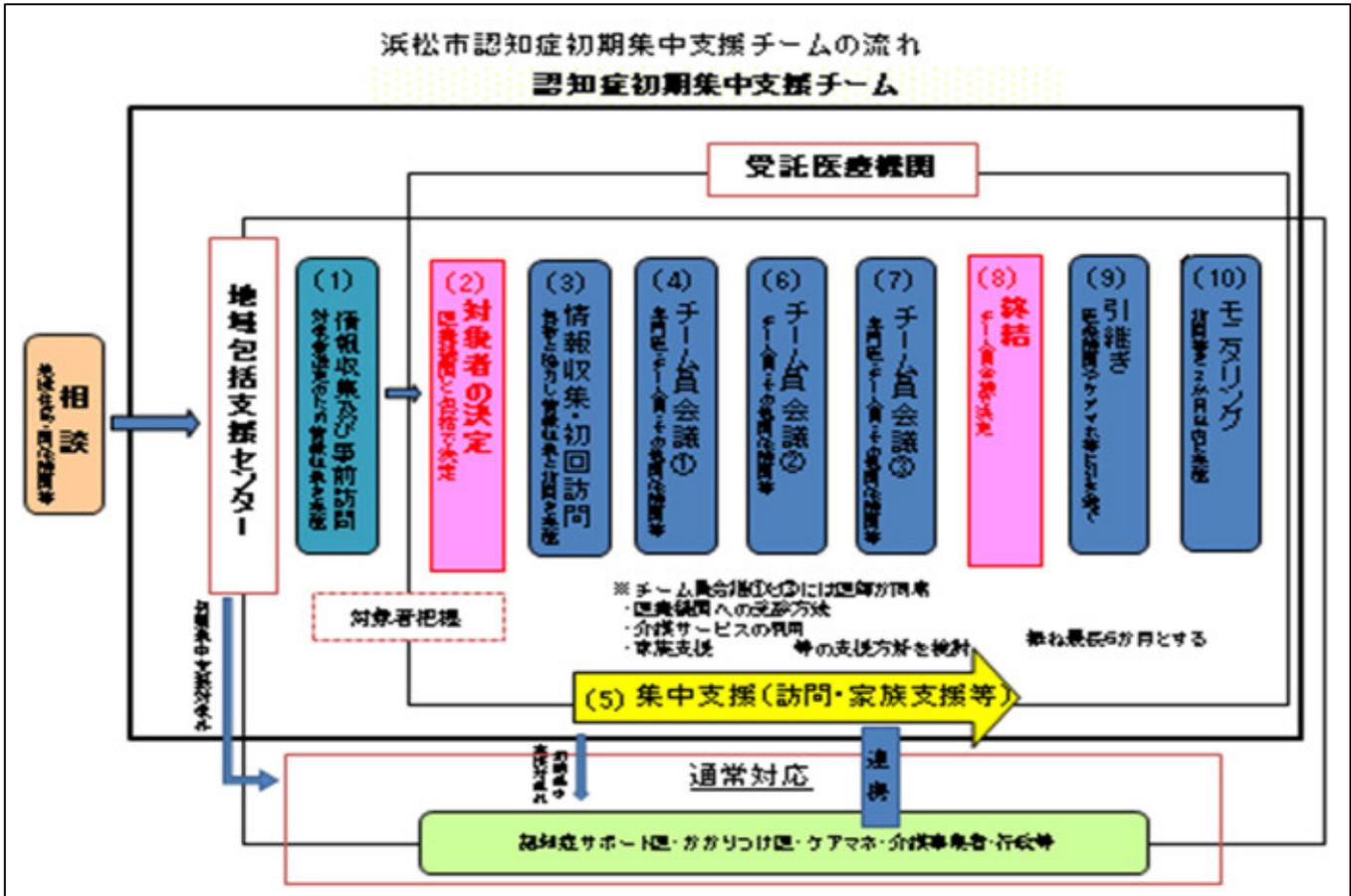
40歳以上で、浜松市内に在宅生活されており、「認知症」や「認知症の疑い」がある人で、医療サービスや介護サービスを受けていない（中断している場合も含む）など、国の定める基準に該当する人が対象となります。チームの対象となるかどうかは高齢者相談センターと医療機関のチーム員で決定します。

●認知症初期集中支援チームの活動は？

認知症が疑われる人や認知症の人およびその家族をチーム員が訪問し、ご本人の様子やご家族の困りごとをお伺いし、医療機関への受診支援や介護サービス利用支援など、6か月間を目安に集中的な支援を行います。



認知症に関するお困りごとにチームで対応します！



浜松市の認知症初期集中支援チームはこのような流れで活動しています！

認知症は、早期診断・
早期対応が大切なの
じゃ



©浜松市
出世大名 家康くん

●チーム員は？

認知症サポート医、認知症の専門知識を持つ保健師・看護師・精神保健福祉士・社会福祉士・作業療法士等で構成されます。

チーム員は上記の専門職であること、認知症または在宅ケアの実務経験3年以上であること、必要な研修を受講した者であることの条件が必要となります。

また、医師についても条件があり、浜松市では、認知症サポート医であり、認知症疾患の診断・治療に5年以上従事した経験の有する者という条件を満たす医師をチーム員としています。

浜松市認知症初期集中支援チームは、市内の4つの医療機関に配置します。
医療機関のチーム員と高齢者相談センターのチーム員が、ご自宅を訪問し支援します。

中区担当
神経科浜松病院

西区・南区担当
好生会三方原病院

東区・北区担当
朝山病院

浜北区・天竜区担当
遠江病院

●浜松市の活動は？

現在、上記の4チームが市内全域で活動しております。

平成28年度は市内8事例（各区1事例、中区のみ2事例）、平成29年度は市内22事例（各高齢者相談センター1事例）で実施しています。

平成30年度からは、事例数に制限なく実施する予定です。

●ケアマネへの依頼

今後、チーム員会議への出席依頼や、ケースの引継ぎ・モニタリングの場面でご協力をいただくとともに、ケース終了後のフォローをお願いいたします。

浜松市では、認知症になっても、本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らしを続けることができる地域づくりを目指して活動しております。今後ともよろしく願いいたします

★連絡先★

浜松市役所高齢者福祉課

医療・介護連携推進グループ

電話：053-457-2105

メール：kourei@city.hamamatsu.shizuoka.jp

浜松市介護支援専門員連絡協議会の舞台裏

研修委員長 佐藤 万里子

会員の皆様におかれましては、日頃から浜松市介護支援専門員連絡協議会（以降「連絡協」という）の運営に格別の御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成29年度の連絡協役員は、会長をはじめとした28名の各地区からの役員及び3名の顧問で成り立っており、その活動は全てボランティア（無報酬）です。その中で、私は研修委員会を担当しておりますが、他に総務委員会・広報委員会があり、それぞれの役員がいずれかの委員会に所属して活動しております。

今回は、私の所属する研修委員会の活動を紹介させていただきます。

本年度の研修委員は連絡協役員28名のうち10名で、年2回の全体研修会の企画・運営が主たる活動です。

6月の総会後の研修には194名の会員の参加があり、「介護保険制度の改正の内容が再度理解できた。」「興味深かった」「新しい制度に関する情報が役に立った」等、皆様から前向きなご意見をいただくことができました。平成30年度の介護保険制度の一部改正に向けて、国の考え方や制度改正についてのおおまかな理解ができたのではないかと感じ嬉しく思いました。反面、「内容が多すぎる」「早すぎてついていけない」「内容が難しい」等のご意見もありました。これらは真摯に受け止め次に生かしていきたいと考えております。

介護支援専門員は常に新しい情報をキャッチして対応していかなければならない職業であり、そのためにアンテナを高く持ち、自ら進んで学ぶ姿勢が必要であると考えます。今回の研修では、新しい制度についての確認や、新たな情報を得ることができ、皆様の理解が一層深まったのではないのでしょうか。

12月2日には、第2回の研修会として、例年行っておりますように新人向けと経験者向けのコース別研修を企画しております。新人コースでは連絡協作成の『新人マニュアル改訂版』の説明を、経験者コースでは『専門Ⅱ（法定研修）の対策』について事例を取り入れながら、いずれも皆様に解りやすい研修をしようと年度初めから準備を開始しております。是非、皆様の多くのご参加をお願い致します。

研修のテーマ決定にあたっては、時代の流れを見つめ、皆様の関心が高い事項、ケアマネに求められていること等々、さまざまな視点で検討する必要があります。日時の設定・会場の確保・講師の決定と交渉・皆様への告知…と、開催までの準備には大変な時間と労力が必要です。私たちにとって、参加してくださった皆様の達成感を感じとることができたり、温かいお言葉をいただけたりすることは、活動へのエネルギーそのものです。今後も、「会員の皆様とともに研修を作り上げていく」という気持ちで、興味を持って参加ができる・業務に生かすことができる・参加することが楽しくなる研修を企画・運営していきたいと考えておりますので、ご協力のほど宜しくお願い致します。

- 追記**
- ◎ 教育センターは教職員の間であることから、連絡協としての利用は困難となっております。ご了承下さい。
 - ◎ 各会場とも駐車場には限りがありますので、公共交通の場合には事業所内での乗り合わせ等、ご理解・ご協力お願い致します。

平成29年度 浜松市介護支援専門員連絡協議会通常総会報告

広報委員 木村 若葉

平成29年6月24日(土)当協議会の通常総会が可美公園総合センターホールにて開催されました。現時点での会員数1093名、通常総会出席者194名、委任状提出者368名で、規定の過半数超えましたので、総会が成立しました。

第1部の総会では、議事として以下の3点の議案に関しまして承認をいただいております。

- ①浜松市介護支援専門員連絡協議会会則の一部改正について
- ②平成28年度事業報告について
- ③平成29年度事業計画について

続いて行政から、「要介護高齢者等の歯科口腔保険医療促進のための実態調査結果について」と「浜松市徘徊高齢者早期発見事業について」の2点について、配布資料のもと説明がありました。

徘徊高齢者早期発見事業に関しましては、現時点で、オレンジシール利用者約380名、オレンジメール登録者約990名、この事業により見つかった方は17名とお話がありました。

第2部の研修会では、シルバー産業新聞社堀田護氏を講師に招き、「地域ケアへの展望～ケアマネに役立つ情報と、記者からの視点」をテーマに、以下について資料に基づき話をさせていただきました。

- ◎2018年介護保険見直し
- ◎先行事例をもとに総合事業
- ◎現場への取材から共生型サービス

AIシステム導入や現役世代並みの所得のある方の利用者負担割合の見直し、特定事業所集中減算見直し等、講演の内容は非常に濃いものでした。現場からとは違う記者からの視点のお話を伺うことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。



尚、今回の研修会にあたっては、講演予定の村岡氏が体調不良によりお越しいただけなくなった為、急遽、堀田氏にご講演をお引き受けいただきました。急な依頼を快く引き受けて下さいました堀田様、また開催に向け尽力いただいた研修担当役員の皆様のおかげをもちまして、研修会が開催できましたことを併せてご報告させていただきます。ありがとうございました。

新会長 あいさつ

浜松市介護支援専門員連絡協議会 会長 西澤 基示郎

2017年度より浜松市介護支援専門員連絡協議会の会長を拝命いたしました、西澤と申します。

さて、平成30年度の医療同時改訂を目前にして、今後介護支援専門員に求められる役割は益々大きくなっていくと感じております。

そのような中で要介護者等ができる限り住み慣れた地域で、最期まで尊厳をもって自分らしい自立した日常生活を送るためには、医療・介護・予防・住まい・生活支援といった多様なサービスが一体的に提供されるとともに、医療職をはじめとする多職種と連携・協働しながら要介護者等を支援できるよう、適切にケアマネジメントを行うことが重要であると考えます。

また、保険制度自体の複雑化や共生型サービスの導入・多職種との連携・地域課題への取り組み等複雑多岐にわたる役割を遂行できる知識や技術の習得の必要性もあります。

当協議会といたしましては、会員向けの研修を各区単位や市全体で企画・実践しております。ぜひ研修への参加と共に、浜松市の介護支援専門員の資質の向上のため一緒に活動へのご協力をいただければと思います。

非力ではありますが、会員や役員の皆様のご協力の基、役割を果たしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



—編集後記—

仕事の帰り道、少しずつ日没が早くなっているなど、秋の訪れを感じる今日この頃。秋といえば、読書の秋(ダイエット本)…スポーツの秋(有酸素運動)…食欲の秋(脱炭水化物)…? 皆さまは、今年どんな秋を堪能される予定ですか…?

※本来であれば新会長挨拶は一面にすべきところですが、皆様にとって有用な記事を一面に致しました。そのため最終面となっておりますので、ご了承下さい。

ご意見やご感想がございましたら事務局までお寄せください。(介護保険課 FAX 053-450-0084)
今後、ますます充実したものになりますよう、関係皆様のご理解とご協力をお願いします。

【広報委員会】 (副会長) 松岡 徹 岡本 留美子 (南区) 木村 若葉 (中区)
鈴木 はまの (天竜区) 長谷川 和歌子 (西区) 袴田 佳代子 (北区)
松井 江里子 (浜北区) 桃井 俊治 (東区)



ケアマネの部屋QRコード